観光の振興

「一般社団法人 噴火湾とようら観光協会」がDMO候補法人として登録される予定で、今後の本格的な事業実施により観光事業の推進が図られます。

▲シンガポールからいちご狩り体験

観光拠点施設

「小幌洞窟」を含めた小幌周辺を観光資源の核の一つとして、道の駅とようら、天然豊浦温泉しおさいと結び付け、旅行消費額増加に向けた新たな取り組みに支援します。

▲小幌洞窟

2 豊かな生活環境の実現

防災体制の構築

北部地域に固定電話に防災行政無線の内容を送信する新たなシステムを導入し、防災体制の強化を図ります。

予算額　44万円

公共交通の維持

コミュニティバスの運行ルートの増便や一部運行ルートの見直しを行い、利便性の向上を図ります。

予算額　2,451万円

自然との共生

インディアン水車公園の魚道木柵改修工事を行い利用者の安全を確保するとともに、町内10公園の修繕を計画的に進めます。また、豊浦海浜公園キャンプ場の照明設備の改修を行い利用者が快適に過ごすための環境を整えます。

予算額　1,648万円

▲豊浦海浜公園キャンプ場

再生可能エネルギーによるまちの活性化

予算額　9,532万円

昨年４月に稼働を開始したバイオガスプラントの安定稼働のため、原料や液肥処理を適正に管理活用し、循環型まちづくりの推進と地域経済の活性化に努めます。